

長期休暇中の情報セキュリティ

1.行楽等の外出前や外出先での SNS 投稿には十分注意しましょう。



長期休暇中には、家族や友人との旅行やイベントへの参加など、普段ではできない予定を立てる方も多いのではないのでしょうか？旅行やイベントで盛り上がって、写真や動画を SNS に投稿する機会も増えるでしょう。以下の注意点に気をつけて楽しい休暇にしてください。



①投稿のタイミング

自分の状況をタイムリーに SNS に投稿する行為は、自分の居場所を全世界に向け発信していることと同じです。内容によっては、悪意のある第三者に居場所が特定されたり、家が留守だと知られ、新たな被害が発生する可能性があります。

位置情報機能を有効にした投稿や、旅行先・イベント先に関する投稿・画像は、時間差をつけて投稿するなどの注意が必要です。

②投稿内容

自分の投稿が炎上の発生源となってしまう可能性があることを忘れてはいけません。自分は炎上と無縁だと思ったり、自分では炎上の心配がないと思う投稿も、受け手によっては不快・不適切と捉えられてしまう可能性もあります。



一度炎上した投稿はものすごい速度で拡散され、元の投稿を削除しても、炎上の収束はできません。恐れるべき事態は、投稿した内容を、第3者がスクリーンショット等で保存し、SNSへ投稿・拡散されてしまうことです。自身の投稿を削除したとしても、第3者の投稿はWeb上から削除されず、残り続けてしまいます。

プライベートでSNSを利用する場合も、SNSに投稿する文面や画像、動画は、第三者が見ても不快感を覚える内容ではないか一度見直すなど注意を払いましょう。

2. 偽のセキュリティ警告に注意

ウェブサイトの閲覧中に、ウイルスに感染している、パソコンが壊れる等の偽の警告に遭遇する場合があります。表示されたメッセージに従って、操作したり、電話をかけて遠隔操作を許してしまったりすると、最終的に有償ソフトウェアの購入や有償サポート契約へ誘導されます。

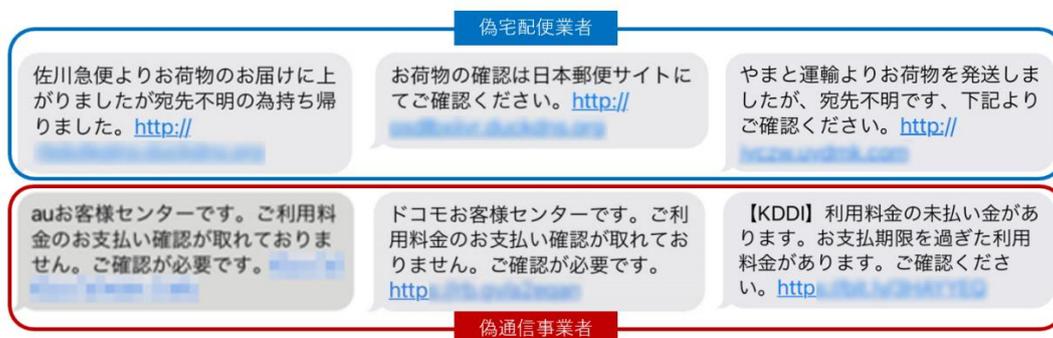


長期休暇中は、いざというときに相談できる窓口が休止となっている場合があるため、具体的な手口と対処方法を確認し、被害に遭わないように注意してください。利用しているセキュリティソフトによる警告ではない場合、特にインターネット利用中にブラウザ画面上に表示される警告は偽物である可能性が高いと考えられます。あらかじめ、利用しているセキュリティソフトのマニュアルやヘルプで、脅威が検知された場合の本物の警告画面を確認しておいてください。

もし、偽の警告画面が表示された場合は、画面を閉じてください。画面が消せない場合は、ブラウザを強制終了するか、パソコンを再起動してください。

3. メールやショートメッセージ (SMS)、SNS での不審なファイルや URL に注意

実在の企業などを騙った不審なメールに関する相談が多く寄せられています。



こういったメールの添付ファイルを開いたり、本文中の URL にアクセスしたりすることでウイルスに感染したり、フィッシングサイトに誘導されたりしてしまう可能性があります。また、不審なサイトへ誘導する URL は、ショートメッセージ (SMS) で送られてくる場合脚注 4 や、SNS で投稿されている場合もあります。

長期休暇中は、いざというときに相談できる窓口が休止となっている場合があるため、具体的な手口と対処方法を確認し、被害に遭わないように注意してください。パソコンがウイルスに感染した疑いがある場合はパソコンの初期化を検討してください。フィッシングサイトで情報を入力してしまった場合は、パスワードの変更、カード会社への連絡等、入力した情報の悪用を防ぐ対応をしてください。

○外部相談窓口の紹介

・情報セキュリティ安心相談窓口

「情報セキュリティ安心相談窓口」は、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が国民に向けて開設している、一般的な情報セキュリティ（主にウイルスや不正アクセス）に関する技術的な相談に対してアドバイスを提供する窓口です。

自分一人で対応しようとせず、すぐに相談するようにしましょう。

・お問い合わせ先

03-5978-7509

受付時間

10:00～12:00

13:30～17:00

土日祝日・年末年始は除く

参考：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）

2024年度 夏休みにおける情報セキュリティに関する注意喚起